



あつ活 NEWS!

みんなで「あつまり」「つながり」
「活躍する」ためのホットな情報
をお届け！

発行：甲府市協働支援センター

国母地区では、自治会連合会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、福祉推進員会の4団体が協力して地域住民が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、『福祉のまち』の実現を目指して『たすけ愛「国母」』を組織して地域活動を展開しています。活動の様子を取材しました。

甲府市 国母地区 たすけ愛「国母」



将来も安心して生活できる仕組みを

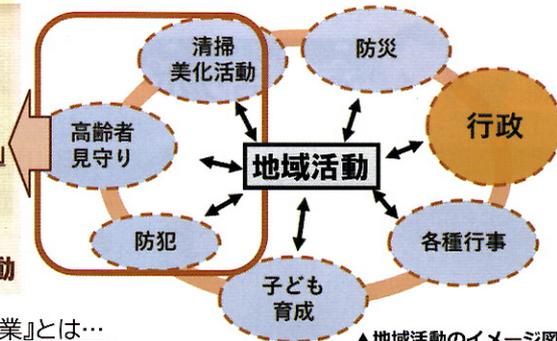
国母地区では、地域住民が主体となって『ゴミ出し』『買い物代行』『草取り』『室内の軽作業』などのちょっとした困りごとや話し相手など、元気な高齢者や登録したサポーターが支援し、助け合って生活する有償ボランティア活動を展開しています。

これは、『生活支援体制整備事業』による地域（まち）づくり事業です。高齢者にフォーカスし、介護予防と高齢者の社会参加の推進などを目的に、多様な主体が連携し、地域住民が主体となってボランティアを集い「地域のコーディネーター役」として活躍するまちづくりを実践しています。

地域活動は多様な主体が分野別で活動をしている。

「たすけ愛「国母」」

高齢者支援を目的
連携し、
『協議体』として活動



『生活支援体制整備事業』とは…

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生きがいを持って暮らせるよう、地域住民や関係各種団体と連携して生活支援などの促進や充実を図る事業。

『協議体』とは…

地域の課題などについて、関係する多様な主体が集まり、情報を共有し連携して、課題解決に向けて取組んでいくための仕組みを持った組織。



利用者とサポーターさんの感想



90代の女性
(利用者)

「先日、切れた電灯の付替えをお願いした」Nさんは『たすけ愛「国母」』を活用しています。「ちょっとした困りごとを助けてくれたり、有価物で大きなゴミ出しをしてくれたり、私が元気かどうか心配してくれたりして助かる」とのこと。月1・2回程度のペースで制度を利用しており、Nさんはたすけ愛「国母」があるので安心して生活できるとの感想を話してくれました。『この制度の存在が地域にもっと知られて、顔の見える関係性が強くなればよい』とのこと。



70代の男性
(サポーター)

「民生委員を経験したのがきっかけで、地域に貢献したいと思い活動をはじめた」こう語るサポーターのSさん。「母親が元気でいれば90歳だった。親をサポートするつもりで活動している」と言います。「ボランティアは一人だと恥ずかしいけど、皆で協力して無理をせず楽しく活動している。支援している人に笑顔で感謝されるのがうれしい」との感想も話してくれました。『この活動が他の地区へも波及すれば、皆が住みよいまちになる』と力強く語ってくれました。